

## 4月から値上げなど市民の負担増 6月から県市民税の復興増税

（均等割1000円）

4月から消費税増税に伴う市の使用料や手数料の値上げが実施されます。

日本共産党市議団は12月議会で、「増税分を

上乗せすれば、低所得者は行政サービスから排除される」と主張して値上げに反対しました。

水道料金は平均2・

77%の引き上げで、口径13mm月20m<sup>3</sup>で103円、口径20mm月25m<sup>3</sup>で148円の値上げです。

下水道使用料は月

20m<sup>3</sup>で106円、30m<sup>3</sup>で169円、鶴岡地域が169円、旧町村が166円、66円の値上げです。

（写真・右）12日、市役所前でおこなわれた鶴岡市の消防出初式。（写真・左）12日の鶴岡地域の成人式。市文化会館ステージで藤島方面隊の梯子乗りが妙技を披露し、会場から大きな歓声があがった。

朝日・櫛引地域のケーブルテレビ利用料は月40円上がります。温泉施設の入浴料は大人

が400円から430円に、子どもは200円から210円に上がります。病院の個室加算料や手数料も表の通り引き上げされます。

減押しついてもひどいものです（右表）。復興増税の企業負担は13年度で廃止し、6月から月額1000円、10年間にわたる県市民税（均等割）の復興増税が始まります。



### 4月から消費税増税に伴う鶴岡市の使用料・手数料の値上げ

水道料金	平均2.77%値上げ 口径13mm月20m <sup>3</sup> ：3,720円→3,823円（+103円） 口径20mm月25m <sup>3</sup> ：5,365円→5,513円（+148円）
下水道使用料	月20m <sup>3</sup> ：3,706円→3,812円（+106円） 月30m <sup>3</sup> ：鶴岡 5,911円→6,080円（+169円） 旧町村5,806円→5,972円（+166円）
日帰り入浴施設	大人400円→430円、子ども200円→210円
市ケーブルテレビ	加入金：35,000円→36,000円（+1,000円） 月額利用料：1,300円→1,340円（+40円）
市加入者系光ファイバ	月額使用料：ギガタイプ5,600円以内→5,720円 コアタイプ 4,900円以内→5,000円 タイプ変更手数料：3,150円→3,240円 新規設置手数料：25,000円→25,900円（+3.6%）
一般廃棄物処理手数料	ごみの区分及び量に応じた金額に乗じる割合を100分の5→100分の8
病院入院加算料	荘内病院特別室：15,750円→16,200円 々 個室：6,300円→6,480円 々 個室的3床室：2,100円→2,160円 湯田川リハ病院特別室：5,250円→5,400円 々 個室：1,575円→1,620円
病院手数料	健康診断料：料金の105%→108% 時間外診療加算料：3,150円以内→3,240円以内 非紹介患者初診加算料：780円以内→1,620円以内 リハビリテーション料：2,940円以内→額の108% 診断書料金等：5,250円以内→5,400円以内 証明等文書手数料：3,150円以内→3,240円以内

### 今後の負担増・給付減は…

2014年	4月	消費税8%への引き上げで約8兆円の国民負担増 年金支給額を1%削減 生活保護生活扶助費2.5%削減（3段階で削減する2段階目） 4月以降に70歳になる人から医療費窓口負担を1割から2割に倍増 14年産米から「米直接支払い」を10% 1万5000円から7500円に半減
	6月	住民税の復興増税スタート（年1000円、10年間）
	10月	厚生年金保険料引き上げ
2015年	4月	軽自動車税（新車）を年7200円から1万800円に値上げ 3年ごとの介護保険料見直し 生活保護生活扶助費削減（3段階目）
	10月	消費税10%への引き上げ（実施の可否を14年末までに決定） 厚生年金保険料の引き上げ



## 合併10年目が節目

藤島地域の新年祝賀会が7日、藤島公民館で開かれ、榎本政規市長があいさつ、渋谷耕一市議会議長と阿部昇司県議が来賓の祝辞、小野木覺出羽商工会会長が乾杯の音頭をとりました。



阿部県議は祝辞の中で、「合併10年目が節目で、あと2年で合併して良かったと言われるように」と述べましたが、平成大合併の評価は「旧町村がまちづくりの権限を失った」と否定的であり、合併を決めた責任をどう取るのか問われます。

## 新春対談―荒井英治さんと志位委員長 作曲家シヨスタコービイチを語る ①

―「しんぶん赤旗」を読んで 青山 崇



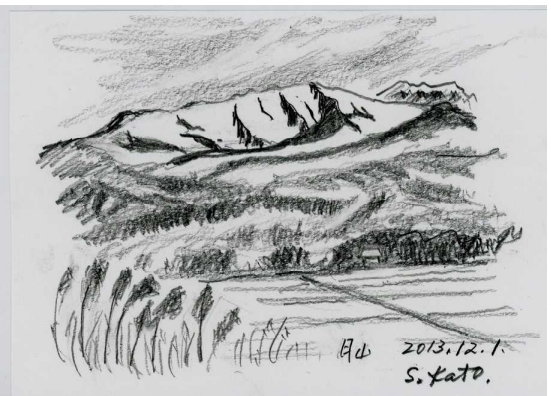
バイオリニストで東京フィル・活位  
ハーモニー交響楽団の志位  
躍する荒井英治さんと、  
和夫委員長（赤旗1月1日付）

音楽は音符も読めず無知蒙昧、クラシックなどは論外である。ところが妻はクラシックが飯より好きでテレビ放映は彼女の独占である。という雰囲気と分らない「音の世界」をチョッピリ知りたいところ数年触れるようになってきた。

さてしんぶん赤旗元日付である。荒井さん

## 月山の寸も見せずすだれ雪

工藤 博司



(画・加藤貞雄)

初冬の頃は、今冬もまた雪の深きを思わせたが、年末から年明けに掛けては降雪もなく「儲かった」気分にはさせられた。

それでもやはり庄内の冬、このところ風雪注意報の連発である。

ひとたび降り出せば、昼なお暗くして降り続く。月山山系もまた、その姿の一端さえ見せることがない。

「すだれ雪」は、降り籠める雪が視界を閉ざしてしまう程の雪のことである。東北と言っても日本海側や山間部では、その雪にじっくり耐えて春を待つ。それにしても、日本語には「雪」にまつわる「ことば」が豊かである。細雪、水雪、うす雪、厚雪、固雪、ざらめ雪、粉雪、新雪、ぼたん雪、飛雪、濡れ雪。西川町大井沢では春雪を「わかば降る」と言う。そう、春雪こそ待ち遠しい。

はバイオリニストで東京フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスター。オーケストラの取りまとめ役で、モーツァルトの頃まで指揮者はなく、バイオリンのリーダーがメンバーに合図をしていた名残がコンサートマスターで、今は指揮者をサポートする役という。そういうえばコンサートが終わると、指揮者は必ず、すぐ左手にこの人と握手している。

志位さんは一時期作曲家を心ざしたので音



## 銃弾貸して人道とは

どういう心算なんだろうと言うのは、韓国に銃弾1万発を貸したことを人道上とノタモ一たことだ。人殺しのための物がどうして人道とつながるのか、と単純に不思議なわけ。

▼これが軍からの話で韓国の上層部が知らなかったような報道もあった。そうでなくても日本には戦争につながる物は他国には出さなという原則があるのに、その例外だと言っている。

▼私の頭では理解できないが、これも積極的平和主義者だからできることなのだろうか。

▼長い間確認し守ってきた原則を誰と誰が話し合っって破ったのか、大変大きな事件と言うことができるが、原則を変えることを簡単にやるナンテ許されることではないでしょう。

楽の造詣が深く、このお二人の対談である。荒井さんが、シヨスタコービイチ（1906〜1975）にひかれたいのはと問いかけると、志位さんは、旧ソ連のスターリン政権に抗して芸術家としての良心を守り抜いた作曲家だが、その音楽は、世の中の暴圧とたたかって、いる人々へのエールで、「戦争する国へ」の動きとたたかっている日本人々々への励ましのメッセージにもなっていると云う。（つづく）

▼どうもこの政権、どつか変じやないですか。政権の片方の党は、自民党のやり方をチエツクするために一緒になつてると言うが。何かの度に「懸念」を申し上げるが、何日も経たないうちにナントナク認めている状態が続いている。これも変とは思っただが。

▼制御がかなわず手を焼いてる原発を、トルコへ売るトテ首相が2度も出掛けているし、どっかの国とはジェットエンジンを共同開発するんだという。

▼靖国に参拝したのは不戦を誓ったのだと言う。負担軽減の口約束で沖縄県民の声を押しつぶし、新しい基地づくりに躍起になっている。

▼これが読者の手に届く頃には、変な考え方に抗して名護市長選で基地建設反対陣営が勝利していることだろう。

(石川)